

### ROKKO森の音ミュージアム

## オルゴールミュージアムが一新

六甲山山頂付近にある六甲オルゴールミュージアムが7月16日、「ROKKO森の音ミュージアム」として六甲山の自然の中でさまざまな音を楽しむ施設にリニューアルオープンする。

今回のリニューアルでは、ガーデンエリアを「SIKIガーデン～音の散策路～」と称して拡張・整備し、屋外で楽しめる「音」を使った展示を新たに追加。四季折々の自然を感じながら、コロナ禍でも安心してゆっくりと過ごせる施設へと生まれ変わる。

また、館内併設のシュトラウス・カフェを「森のCafé」と名称変更し、メニューを一新してワンプレートランチやセミセルフを導入。テラス席を拡張し、オーブ

「ROKKO森の音ミュージアム」のイメージ写真



ンエアでも気軽に利用できるようになる。

館内では、リニューアル記念企画として「演奏家のいないコンサート「久石譲、」を7月16日～9月8日に開催。期間中は、久石譲さんの楽曲を中心に、世界最大級のダンス・オルガンなどで生演奏を行う。同館☎078・891・1284

### 摩耶山天上寺

## 俳人らの愛する沙羅の花

三十数株の沙羅の木(ナツツバキ)が植わっている摩耶山天上寺。海拔700mの山頂にあるため、平地より10日ほど遅れ、6月下旬よりぼつぼつと咲き始める。

毎日数輪が咲いては散り、7月初旬まで。今年は咲き始めが早く、すでに盛りを迎えている。



沙羅の花が見頃を迎えた摩耶山天上寺

沙羅は仏教にゆかりの深い花で、諸行無常のたとえにしばしば引かれる。朝咲くと夕方にはボタリと落花する。ツバキに似た乳白色の五弁の花を開き、気品に満ちた美しい花だ。

お釈迦さまの大いなる死のさまを描いた「涅槃図」には、必ず沙羅双樹と、右上に釈迦の死を悲しむ生母の摩耶夫人の姿が描かれている。

平家物語の冒頭はあまりにも有名であり、また四季を通して、俳人たちが摩耶山に吟行に訪れる。沙羅咲いて光は庭を裏みたる

虚舟

摩耶山天上寺☎078・861・2684

### ホテル神戸六甲迎賓館

## 屋外テラスでバーベキュー

本格的な夏の到来も間近。青葉輝く六甲山頂の開放的なテラス席で、日帰りバーベキューはいかが？ ホテル神戸六甲迎賓館では10月3日まで、期間限定の各種プランを用意している。

ヘルシーなジギスカンセット(2600円)やボリューム満点の国産牛コース(3480円)、おいしいと取りの海鮮&ビーフセット(2900円)、家族で食べたいファミリーコース(4800円)の4種類(いずれも1人前、消費税・サービス料込み)。

このほか、愛犬の足に優しい人工芝のドッグランや、摩耶山付近から湧き出た「神戸二軒茶屋温泉」

ホテル神戸六甲迎賓館のバーベキューセット



の天然温泉も用意。大人から子ども、それにワンちゃんまで、おなかと心を満たして帰れそう。

午前11時～午後7時(最終退店時間)。予約は同ホテル☎078・891・1239。ホームページからも受け付けている。



## 夏はトマト、冬は豚まん!!



100年近い歴史を誇る「藤原商店」。六甲山銀座と呼ばれた栄華を今に伝える＝いずれも神戸市灘区六甲山町南六甲



メニューの立て看板にも地元色がよく出ている



シチタンカをラベルにした日本酒生貯蔵酒六甲山の森

戦後は山上の別荘や保養所に食材などを供給し、店頭でも食料品や飲み物、酒類などを販売。山上のミニスーパーのような存在として長く親しまれてきた。近年はハイカーやランナー、ロードバイクの人たちがよく利用するせいか、夏には冷やして

午前7時～午後9時(閉店時間は曜日・季節で変動あり)。水曜定休。天候による休業や時間変更もある。☎078・891・0360

## ハイカーに元気を補給

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第4火曜日に掲載します)

六甲山の茶屋を紹介するシリーズ7回目は、六甲山上、前ヶ辻の西側にある藤原商店。南麓から続くアイスロード、北麓からのシユライロードが出合うのが前ヶ辻だ。六甲山上を東西に貫く車道に面しているため、ハイカーのみならず、バイクや自転車でも立ち寄る人も多い。六甲全山縦走の補給ポイントとしても重要な位置づけとなっている。

### 六甲山上、前ヶ辻 藤原商店

「このあたりは、かつて「六甲山銀座」と呼ばれてにぎわっていた。昭和初期の地図を見ると、藤原茶屋をはじめ、十数軒もの茶屋があったことがわかります。ほかの店はすべてなくなってしまうので、藤原商店と名前は変わっても、六甲山全盛期から続く歴史の遺産です」

ちなみに、前ヶ辻には六甲開山の祖として親しまれるグルームさんゆかりの「白髭神社」がある。前田氏によると、藤原商店の店主夫妻が長年境内の清掃を続けておられると、前を通るときには、ぜひ立ち寄ってみよう。

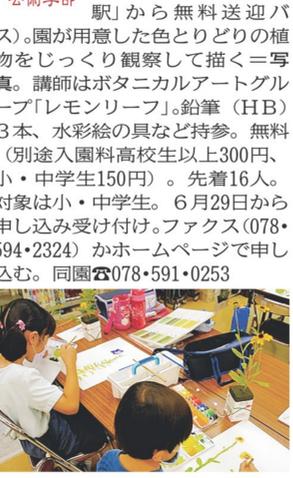
## 根岸真理が案内 山の四季便り

ねぎし・まり アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう」など。



A・H・グループに懐いていたキツネを祭ったとされる白髭神社

◆こども植物画教室 7月29日10時半～15時半、神戸市立森林植物園(神鉄「北鈴蘭台駅」から無料送迎バス)。園が用意した色とりどりの植物をじっくり観察して描く＝写真。講師はボタニカルアートグループ「レモンリーフ」。鉛筆(HB)3本、水彩絵の具など持参。無料(別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円)。先着16人。対象は小・中学生。6月29日から申し込み受け付け。ファクス(078・594・2324)かホームページで申し込み。同園☎078・591・0253



◆七夕のついで 7月11日13時半～14時、神戸市立森林植物園(神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス)。県立人と自然の博物館館長の中瀬勲さんと同植物園名誉園長の真野響子さんによる対談＝写真。無料(別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円)。予約不要。同園☎078・591・0253



◆しょくぶつとむし 7月17日～9月26日(虫に関する一部展示は9月5日まで) 10～17時、六甲高山植物園



(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「高山植物園」すぐ)。植物と虫の関わりに焦点を当てた企画展＝写真。六甲山に生息する昆虫たちと植物の切っても切れない深い関わりについて、花に集まるハチやチョウの観察のほか、標本を通して学ぶ。無料(別途入園料700円、4歳～小学生350円)。同園☎078・891・1247

駅から無料送迎バス)。「六甲山の自然を学ぼう会」会員を講師に招き、顕微鏡を使って小さな生き物を観察する＝写真。100円(別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円)。先着15人。対象は小学生以上。6月22日から申し込み受け付け。ホームページなどで申し込み。同園☎078・591・0253



催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/



六甲山大学・情報凝縮サイト 653daigaku.com



わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています

協賛企業



順不同